



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和5年1月18日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ キョクリユウガクササエアイスイシンキ
ヨウギカイ

団体名 旭竜学区支え合い推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ ヤシロ タケトシ

代表者氏名 会長 八代 武利

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	旭竜助け合い隊推進事業
事業実施区域(小学校区)	旭竜学区
事業実施回数	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 3回目(令和3年度から)
課題	当学区には高島団地という大きな市営住宅団地があり、そこには高齢で独り住まいの人が多く、日常生活のちょっとしたことで困っている人が多い。 当学区は高齢化率が高く(38%)、高島団地以外でも、学区内には日常生活で困っている人が多い。 病院付き添い、買い物、ごみ出し、草取り、家事手伝い、庭の片付け、庭木の剪定、電球の取り替えなどである。 これらは介護保険サービスの適用にならないものが多く、介護保険制度を補完するものとして、地域でサポートする必要がある。 当事業は、令和2年9月にスタートしたが、最近では利用者も多く、高齢者から喜ばれ、意義のある事業となっている。
事業の目的	(1) 高齢者にやさしいまちの創造 (2) 高齢者の困りごとの解消 (3) 介護保険制度の補完 (4) 「いつまでも住み続けたいと思う」まちづくり (5) ボランティア精神の涵養 (6) ボランティア活動による生きがいの発見と認知症の予防 (7) 独り住まい高齢者の安否確認

<p>事業の内容・感染防止対策の内容</p>	<p>(事業の内容)</p> <p>前記のような課題の解決と目的のため、令和2年7月、「旭竜助け合い隊」を創設し、同年9月1日から活動事業をスタートした。令和5年度は4年目に当たる。</p> <p>その事業は次のとおりである。</p> <p>病院付き添い、買い物、ごみ出し、草取り、家事手伝い、庭の片付け、庭木の剪定、電球の取り替えなどの支援を希望する場合、助け合い隊のコーディネーターへ電話をし、電話を受けたコーディネーター(4名、1週間で交代)が、登録したサポーター(26名)に電話をし、日程調整をしたうえで、要支援者をサポートするものである。</p> <p>(実施する感染防止対策の内容・方法)</p> <p>(1) 屋内作業、病院付き添いのサポーターは、手指のアルコール消毒と検温を行う。</p> <p>(2) 会議においても、会議室に入る前に、手指のアルコール消毒と検温を行う。</p>
<p>期待される成果・目標</p>	<p>(1) 高齢者の困りごとの解消 (2) 介護保険制度の補完 (3) ボランティア精神の涵養 (4) ボランティア活動による生きがいの発見と認知症の予防 (5) 独り住まい高齢者の安否確認</p> <p>別添活動実績のとおり、大きな成果を上げている。</p>
<p>企画などの工夫</p>	<p>(1) 令和3年度は、マグネットシート、ミニコミ誌、機関誌を作成し、全戸に配布してPRした。</p> <p>(2) 令和4年度では、11月1日付けでミニコミ誌を発行した。 令和5年3月1日付けで機関誌も発行する予定である。</p> <p>(3) 令和5年度でも、ミニコミ誌、機関誌を各1回発行する予定である。</p> <p>(4) 他学区から、制度説明の依頼があれば、積極的に行く。</p>
<p>協働する団体等</p>	<p>(1) 旭竜地区民生委員児童委員協議会 (2) 旭竜地区社会福祉協議会 (3) その他、事業実施メンバーのとおり</p>

事業の 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> (1) 機関誌の発行（年1回程度） (2) ミニコミ誌の発行（年1回） (3) 公民館だよりへの掲載 (4) 他学区への積極的なPR
学区 地区 への 広がり	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年11月、ミニコミ誌発行 (2) 令和5年 3月、機関誌発行予定 (3) 令和5年10月、ミニコミ誌発行予定 (4) 令和6年 3月、機関誌発行予定
前年度 からの 見直し 拡充点	<ul style="list-style-type: none"> (1) 現在、コーディネーターは4名である。 できれば、もう2名増やしたいが、何を依頼されるか、分からないという不安があり、なかなか増えない。 (2) 現在、サポーターは25名である。できれば、30名にしたい。 高齢との理由で辞めていく人もあり、なかなか増えない。
次年度 以降の 予定	<ul style="list-style-type: none"> ① 次年度以後の活動計画 旭竜助け合い隊事業を継続する。 ② 資金の確保について <input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定
その他 PR したい 点	<ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくりの一環であること。 (2) 「福祉の町・旭竜」を一層充実させるものであること。 (3) サポーターは、ほとんどの人が65歳以上で、高齢者の生きがいになり、認知症の予防になること。

事業スケジュール

月 日	活 動 内 容
4月	助け合い隊サポート事業 支え合い推進協議会
5月	助け合い隊サポート事業 助け合い隊会議
6月	助け合い隊サポート事業
7月	助け合い隊サポート事業
8月	助け合い隊サポート事業
9月	助け合い隊サポート事業
10月	助け合い隊サポート事業 ミニコミ誌発行
11月	助け合い隊サポート事業 助け合い隊会議+研修会
12月	助け合い隊サポート事業 支え合い推進協議会
1月	助け合い隊サポート事業
2月	助け合い隊サポート事業 機関誌発行
3月	助け合い隊サポート事業

令和5年度・収支予算書

◆収入

単位:円

項目	決算見込み額	予算額	内容
岡山市補助金	66,000	69,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	68,886	63,000	
連合町内会補助金	0	0	
協賛金	0	0	
雑収入	0	0	
計	134,886	132,000	

◆支出

単位:円

項目	決算見込み額	予算額	内容
① 消耗品費	38,000	30,000	プリンターインク代(6,000円)、会議用お茶代(6,000円)、その他の文具(18,000円)
② 印刷製本費	37,000	35,000	機関誌(15,000円×1回=15,000円)、ミニコミ誌(15,000円×1回=15,000円)、コピー代(5,000円)
③ 通信運搬費	40,000	43,000	携帯電話通話料金(3,250円×12か月=39,000円→40,000円)、切手代(3,000円)
④ 保険料	12,600	16,000	ボランティア保険(900名分)
⑤ 手数料	1,500	2,000	振込手数料(2,000円)
小計(①)	129,100	126,000	
⑥ 新型コロナウイルス感染防止対策経費	5,786	6,000	アルコール消毒液、マスク、非接触型体温計
小計(②)	5,786	6,000	
支出合計(①+②)	134,886	132,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	<input type="radio"/> 希望しない
----------------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

令和5年度上半期の事業運営費が不足するため。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。